



# 會津八一と

法隆寺 疏瓦  
長サ 一尺二寸  
厚サ 二寸  
推古時代



菅原寺 疏瓦  
長サ 六寸七分  
厚サ 一寸五分

飛鳥寺 瓦  
徑 五寸  
天平時代

## AIZU YAICHI

Collection of  
**Roof Tiles**

# の蒐集

會津八一氏蔵拓本

2023  
**3・4** 土 ▶▶ **6・4** 日  
入場無料

●時間/午前 **9:00** ~ 午後 **4:30**

●休館日/月曜日(休日の場合は翌日)

**本庄早稲田の杜ミュージアム**

**早稲田大学展示室**

早稲田大学本庄キャンパス93号館1階

●主催/早稲田大学文化企画課考古資料館  
早稲田大学會津八一記念博物館

◆お問い合わせ ☎ 0495-71-6878

✉ hwmm@city.honjo.lg.jp 🌐 <https://www.hwmm.jp/>

◆早稲田大学考古資料館 ☎ 0495-24-1081

✉ wasedakouko@list.waseda.jp 🌐 <https://www.waseda.jp/culture>

本展覧会は、寄付者の皆様から「早稲田文化募金」を通じご支援を受けています。

🌐 [https://kifu.waseda.jp/contribution/w\\_culture](https://kifu.waseda.jp/contribution/w_culture)



WASEDA University



會津八一（1881～1956）は書家、歌人、東洋美術史学者であり、早稲田大学の歴史考古学の基礎を築いた人物です。八一は早稲田大学で東洋美術史の講義を受け持った際、実物資料を重要視する「実学」を主張し、学生の教育・研究用に実物資料を蒐集しました。これらの資料が會津八一記念博物館で所蔵される會津八一コレクションとなります。

当コレクションには明器、瓦<sup>がせん</sup>、仏像、古鏡、近世書画、金石拓本などがありますが、八一は中でも明器に次いで瓦<sup>がせん</sup>の蒐集に力を注ぎました。その蒐集意図について、「(瓦に) 刻み付けられた蓮華や唐草又は文字などの中に実に立派な芸術を見出す。そして更に進んでは昔其れを載せて居た伽藍堂塔の内部にまで推察を及ぼし、尚ほ又其れを製作した時代を考へることも出来る。(中略) それ故に私が今七百余の瓦の破片を持つことは、私の狭い研究室の棚の上に、幾十幾百の古き堂塔を持つと同じことである。」(「面影」『早稲田学報』1934) と述べており、東アジア各地の瓦<sup>がせん</sup>を蒐集しました。

八一の重視した「実学」を尊重する学統は、現在の早稲田大学においても受け継がれ、様々な研究が進められています。本展では、八一が生涯を通して重視した「実学」を、八一が蒐集した各時期の日本・朝鮮・中国瓦<sup>がせん</sup>の展示を通してご紹介いたします。

## 講演会情報

### 「會津八一の蒐集品 - 明器泥像から拓本まで -」

講師 / 下野玲子 (早稲田大学會津八一記念博物館主任研究員)

日時 / 3月12日(日) 14:00～15:00

会場 / 本庄早稲田の杜ミュージアム

(早稲田大学本庄キャンパス93号館) 3階レクチャールーム1

定員 / 100名 (事前申込必要・先着順) 受講料: 無料

### 「會津八一の蒐集した瓦<sup>がせん</sup>について」

講師 / 谷川 遼 (早稲田大学會津八一記念博物館助手)

日時 / 5月20日(土) 14:00～14:50

会場 / 本庄早稲田の杜ミュージアム

(早稲田大学本庄キャンパス93号館) 3階レクチャールーム1

定員 / 100名 (事前申込必要・先着順) 受講料: 無料

※講演会終了後の15:00～15:30に展示室にて  
ギャラリートークを実施いたします。

お問い合わせ

## 本庄早稲田の杜ミュージアム

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011

TEL: 0495-71-6878

Website <https://www.hwmm.jp> E-mail [hwmm@city.honjo.lg.jp](mailto:hwmm@city.honjo.lg.jp)

- アクセス
- ◆ JR 上越・北陸新幹線 本庄早稲田駅より徒歩約3分
  - ◆ JR 高崎線 本庄駅南口から はにぼんシャトル (所要時間13分)  
「本庄早稲田駅北口」下車徒歩5分 または 本庄南口からタクシー10分
  - ◆ 車 関越自動車道 本庄児玉ICから5分 無料駐車場あり

